

小学生(低学年)向け



『おしろのばん人とガレスピー』

ベンジャミン・エルキン／作 ジェームズ・ドハーティ／画 小宮由／訳
大日本図書 ￥1,400(税別)

世界中の誰よりも目のよい三兄弟を、お城の番人にした王様は、彼らをだませたものにはダイヤモンドのついた金のメダルを贈るといふ。世界中の人がお城に押しかけるが、番人をだますことができたのは、赤い荷車を引く少年だった。



『おなかのなかで』

島野雫／作・絵
教育画劇 ￥1,300(税別)

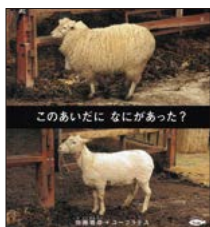
かもを飲み込んだきつねは次の瞬間、大きな魚に飲み込まれる。かもがりんごと飲み込んだいもむしと、かも、きつねの3匹は、真つ暗闇の魚のおなかの中で、外に出るため協力して知恵を絞る。迫力のある絵でユーモアたっぷりに伝える。



『ごちそうの木』

ジョン・キラカ／作 さくまゆみこ／訳
西村書店 ￥1,500(税別)

日照りで動物たちの住む土地に、食べ物がなくなってしまう。賢いカメに相談に行き、ごちそうの木の名前を覚えてもらうが、「ン」から始まるその木の名前が覚えられない。鮮やかな色彩の挿絵で語られる、アフリカの民話。



『このあいだになにがあった?』

佐藤雅彦、ユーフラテス／作
福音館書店 ￥900(税別)

毛を刈り取る前と後の羊の写真、オタマジャクシとかえるの写真など、2つの写真を並べ、間に何が起こったのかを想像していく。写真をもとに推理を働かせ、想像力を刺激する一冊。



『さかなのたまご』

内山りゅう／写真・文
ポプラ社 ￥1,500(税別)

川などの淡水で生きる魚たちが、子孫を残すためにいろいろな方法で卵を守る。貝の中に卵を産み、危険から子どもを守る魚や、違う魚に卵を守らせる魚もいる。魚たちの生き残りをかけた驚きの生態がわかる。



『重かって……』

ジェイソン・チン／作 竹内薫／訳
偕成社 ￥1,500(税別)

重力は目に見えないけれど、私たちの身の周りのものや、太陽、月、地球、そして重さや距離とも関係がある。視点を変えると、当たり前にも疑問が生まれる、ということに気付かされる。科学のおもしろさに触れることができる絵本。



『じょやのかね』

とうごうなりさ／作・デザイン
福音館書店 ￥1,200(税別)

大晦日の夜、男の子は初めて除夜の鐘をつくため、パパと一緒に寺に向かった。甘酒を飲み、パパに「12時まであと何分?」と何回も聞きながら、順番を待つ。白黒の版画で描かれた絵から、冬の夜の寒さが伝わってくる。



『ひとりになったライオン』

夏目義一／文・絵
福音館書店 ￥1,400(税別)

親のもとを離れた一匹のライオンの成長物語。動物たちの細かな毛並みまでリアルに描かれており、見応えがある。大自然の中で失敗しながらも、生きるすべを見つけていく野生動物の姿を見ることができる。

その他のおすすめの本

●『きのうのおうちへようこそ!』

ドロシア・ウォーレン・フォックス／作 おびかゆうこ／訳 偕成社 ￥1,500(税別)

●『クマと森のピアノ』

デイビッド・リッチフィールド／作 俵万智／訳 ポプラ社 ￥1,400(税別)

●『ごはんはおいしい』

ばくきょんみ／文 鈴木理策／写真 福音館書店 ￥1,600(税別)

●『サイアク!』

花田鳩子／作 藤原ヒロコ／絵 PHP研究所 ￥1,100(税別)

●『サンタクロースのはるやすみ』

ロジャー・デュボアザン／作 小宮由／訳 大日本図書 ￥1,400(税別)

●『しっぱいなんかこわくない!』

アントレア・ベティエー／文 デイヴィッド・ロバーツ／絵 かとうりつこ／訳 絵本塾出版 ￥1,400(税別)

●『すごいね!みんなの通学路』

ローズマリー・マカーニー／文 西田佳子／訳 西村書店 ￥1,500(税別)

●『ちょっとおんぶ』

岩瀬成子／作 北見葉胡／絵 講談社 ￥1,350(税別)

●『てんこうせいはフニだった!』

おのりえん／作・絵 こぐま社 ￥1,200(税別)

●『ともだちのときちゃん』

岩瀬成子／作 植田真／絵 フレーベル館 ￥1,100(税別)

●『へたなんよ』

ひこ・田中／文 はまのゆか／絵 光村教育図書 ￥1,300(税別)

●『ぼくのもものき』

広野多珂子／文・絵 福音館書店 ￥1,200(税別)